（2022.12）
（情報公開文章用）

作成日　2025 年 5 月 9 日
第 3 版作成

2022 年 9 月 22 日～2023 年 8 月 31 日
研究課題（承認番号：5794）
「座位における円背姿勢が摂食嚥下機能に及ぼす影響」へ
ご協力いただいた方およびご家族の方へ

―「画像解析を用いた Chin-down 姿勢の定量化の検討」へのご協力のお願い―

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者　川崎医科大学附属病院　リハビリテーションセンター　言語聴覚士　中村克哉
（川崎医科大学附属病院　リハビリテーションセンター　言語聴覚士）
研究分担者　川崎医科大学附属病院　リハビリテーションセンター　言語聴覚士　水上七海
川崎医科大学附属病院　リハビリテーションセンター　言語聴覚士　駒津鈴香
川崎医療福祉大学　言語聴覚療法学科　教授　福永真哉
（川崎医科大学附属病院　リハビリテーションセンター　言語聴覚士）
川崎医科大学　リハビリテーション医学　講師　山本五弥子

１．研究の概要

日本は高齢化が進んでおり、超高齢社会に応じたリハビリテーションが求められています。背中が異常に曲がった姿勢である円背は、高齢者に多く見受けられ、健康状態に悪影響を及ぼすことが報告されています。円背が大きくなるにつれて、頭部の位置は前方に移動し、顎が上がったような姿勢になります。この姿勢は嚥下（飲み込むこと）に不利な姿勢であると考えられ、食事中の誤嚥（食べ物や水が気管内に入ること）に繋がる可能性があります。誤嚥を予防するために、体に対してあごを引くような「Chin-down 姿勢」が広く用いられてきましたが、一貫した定義がないため、具体的にどのようにあごを引けばよいか曖昧なのが現状です。本研究では、姿勢の画像解析方法を確立し、Chin-down 姿勢を定量化することを目的としています。

２．研究の方法

1) 研究対象者

2022 年 9 月 22 日～2023 年 8 月 31 日の間、研究課題（承認番号：5794）「座位における円背姿勢が摂食嚥下機能に及ぼす影響」にご協力いただいた方および今回の研究に同意していただいた附属病院に入院中のリハビリ処方のある患者さん、川崎学園に所属する教職員・学生を対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2028 年 3 月 31 日

3) 研究方法

上記の研究対象期間に当院において研究課題「座位における円背姿勢が摂食嚥下機能に及ぼす影響」にご協力いただいた方の研究で取得した情報と今回の研究で取得するデータを用いて姿勢の画像解析方法を確立し、嚥下（食べ物や水を飲み込む）する際に誤嚥を予防する姿勢について調べます。

4) 使用する情報の種類

年齢、性別、身長、体重、側面写真、嚥下機能などのデータを使用します。

5) 外部への情報の提供

この研究に使用する情報は、以下の共同研究機関に提供させていただきます。情報はパスワード付きUSBを用いて保存し、提供の際は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し、郵送もしくはUMINファイル交換システムにて提供させていただきます。

共同研究機関：兵庫県立大学　先端医療工学研究所　准教授　八木直美
北海道医療大学　リハビリテーション科学部　言語聴覚療法学科　准教授　永見慎輔

6) 情報の保存及び二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から 5 年間、川崎医科大学附属病院リハビリテーションセンターで保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

7) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2025 年 3 月 31 日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

＜問い合わせ・連絡先＞

川崎医科大学附属病院　リハビリテーションセンター　言語聴覚士
氏名：中村克哉
電話：086-462-1111　内線 22820（平日：9 時 00 分～17 時 00 分）
E-mail：k-nakamura@hp.kawasaki-m.ac.jp

＜研究組織＞

研究代表機関名　川崎医科大学附属病院
研究代表責任者　川崎医科大学附属病院　リハビリテーションセンター　言語聴覚士　中村克哉
（川崎医療福祉大学　言語聴覚療法学科　助教）

共同研究機関　兵庫県立大学　先端医療工学研究所　准教授　八木直美
兵庫県立大学・先端医療工学研究所・教授・小橋昌司
兵庫県立大学・先端医療工学研究所・助教・藤田大輔
兵庫県立大学・工学部・4 回生・遠藤碧
北海道医療大学　リハビリテーション科学部　言語聴覚療法学科　准教授　永見慎輔

３．資金と利益相反

この研究は、学内研究費を用いて行われる予定です。本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学および川崎医療福祉大学の利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。